

日 時:令和6年11月19日(火)13:30~15:00

場 所:瀬戸内市地域生活支援センター スマイル

○開会挨拶:部会長

【報告事項】

○備前圏域事務局連絡会議(10/28)、岡山市町村地域自立支援協議会事務局連絡会(R7.2月頃瀬戸内市)について。

○市総合防災訓練について。(11/17 長船中学校会場。協議会見学。住民による避難所の設営)

○協議会年間スケジュールについて。(変更点の共有)

○基幹相談支援担当者変更について。(R6.10月より)

【グループワーク】2 グループに分かれて、それぞれのテーマにて協議。

○1 グループ・・・福祉サービスの利用や緊急時の受け入れについて。

- ・親に病気などの問題が起きてから、急にサービスの調整をすることが多い。将来を本人と一緒に考える機会があったら。
- ・若い世代はショートステイをよく使っているが、年配の世代はそれを使っていない傾向がある。
- ・自立に向けた情報収集が出来づらい。相談先がない。
- ・相談員がプランを作るとき、親だけでなく本人とも将来のことを一緒に検討していく機会にする。
- ・医療的ケアが出来る短期入所がどれだけニーズ・要望があるのか、改めて実態把握が必要。
- ・社会資源の情報発信がまだ不足している。その必要性がある。

○2 グループ・・・地域の社会資源を改めて把握し、新たな資源を生み出す取り組みについて。

- ・権利擁護、生活困窮者支援、ひきこもり支援、子ども関係と入口は広がったが、出口に課題がある。拠点事業の展開につながるニーズか。
- ・日中サービス支援型グループホームが出来たが、重度の方の受け入れが難しい場合もあり、日中のサービス内容も明確でない場合がある。入居者へのアンケートをしてもよいか。
- ・親亡き後複合的ニーズについて。
- ・ささえ愛ネット(社会福祉法人等地域貢献)を活用し、就労体験の場があればと思う。
- ・個別避難計画を今後作成していくため、少しずつ繋がっていない方と繋がっていく機会を増やしたい。
- ・地域の方に市内の障害福祉サービス事業所を知っていただく機会を作るのはどうか。
- ・移動のニーズについて。
- ・コロナでなくなったイベントを再度実施していくことでつながりを持っていけないか。
- ・I型の活用、ニーズについて。イベント等社協と合同で実施する等規格の検討もどうか。

【情報提供】

○差別解消法研修について(福祉課)

・事業所対象研修(11/6)

・民生委員等対象研修(12/12 予定)

○閉会挨拶:副部会長